

ミュゼふくおかカメラ館 冬の企画写真展
— とやまの写真家シリーズ —
安念余志子 写真展

「うつらふ」
「古寺愛歌 勝興寺」^{国宝}

[同時開催]第12回 フォトサークルan写真展
2023.11.3(金・祝)~12.24(日)

ミュゼふくおかカメラ館

9:00~17:00(入館は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合は翌平日)
[入館料]一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料

※土・日・祝日は高校生無料 ※65歳以上は400円(免許証などをご提示ください)

※祖父母と孫が一緒なら入館料無料

(祖父母は高岡市、富山市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、氷見市、滑川市、舟橋村、
上市町、立山町、魚津市、黒部市、入善町にお住まいの方)

※上記の割引は併用できません。

[関連催事]

安念余志子オープニングギャラリートーク

11月3日(金・祝)14:00~

○事前申込不要です ○参加無料(ただし入館料が必要です)

安念余志子セミナー「素敵なタイトルのつけ方」

12月3日(日)14:00~

○事前申込が必要です ○先着20名様 ○11月3日から受付開始(TEL:0766-64-0550)

○参加料1,000円(入館料含みます) ※年間パスポートをお持ちの方は500円

「うつろふ」

季節のうつろいと、圧巻の国宝・勝興寺シリーズを—

季節のうつろい、心のうつろい。

二度と同じ光景には出会わない、

二度と同じ写真は撮ることができない。

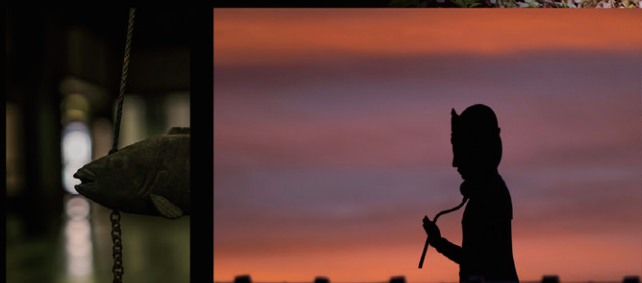
そんな一瞬を「カメラ」という絵筆を使って表現する、
心象風景とも言える安念余志子の世界を「うつろふ」と題し、

この度一堂に展示します。

また勝興寺国宝指定を祝い、
渾身の撮りおろし最新シリーズ約30点も発表します。

荘厳かつ圧倒的な存在感と美しさで魅了する

国宝・勝興寺をお楽しみください。



安念余志子プロフィール

富山県砺波市生まれ、在住。東京写真大学短期大学部(現東京工芸大学)卒業、故竹内敏信氏に師事をうける。
第52回(2005年度)JPC全国展にて内閣総理大臣賞、第15回(2008年度)前田真三賞受賞。
写真集に『春はめぐりとなみ野古寺愛歌』『光のどけき』『うたかた』(風景写真出版)がある。
(公社)日本写真家協会会員、(公社)日本写真協会会員、(一社)日本写真文化協会会員。
富山県砺波市にて(有)スタジオ天正堂スタジオan経営。



安念余志子写真集『うつろふ』

64ページ、ソフトカバー／発行:風景写真出版

定価:2,800円(税込)

【開催中】コレクション展「WAR and CAMERA200～戦中戦後のカメラたち～」／令和6年12月24日(日)
【次回展】全日本写真連盟共催事業「第82回国際サロン展」／令和6年1月4日(木)～2月12日(月・祝)

【お問合せ先】ミュゼふくおかカメラ館
〒939-0117 富山県高岡市福岡町福岡新559
TEL:0766-64-0550 / FAX:0766-64-0551
info@camerakan.com https://www.camerakan.com

ミュゼ ふくおか カメラ館
MUSE FUKUOKA CAMERA MUSEUM



「古寺愛歌 勝興寺」

国宝